

(新)環境と交通に関する世界会議in愛知開催事業

100百万円(0百万円)

環境管理局自動車環境対策課

1. 事業の概要

都市における持続可能な交通環境を実現するため、2005年8月愛知万博事業として名古屋で「環境と交通に関する世界会議in愛知」を環境省、経済産業省、国土交通省等の主催により開催。本事業は「シンポジウム」「くるま・環境・技術2005」「地域フォーラム」の3プログラムを同時開催し、より高い相乗効果を狙う。

国内外の著名人、学識経験者、産業界、一般、NGOなどを参集し、万博会場、名古屋大学、名古屋マリオットホテル等を会場として、延べ10,000人以上の参加を見込む。

2. 事業計画

世界会議キックオフ：万博会場にて開会式、基調講演を行い、環境と交通に関する先進的な取組み等について啓発、情報提供を行う。

環境と交通に関するシンポジウム：環境に配慮した最新鋭自動車技術、環境配慮型交通システムの導入、市民自らの取組み方などにつき、各テーマ毎に産学官・国内外の有識者のリードにより議論する。

くるま・環境・技術2005：環境に配慮した自動車技術、交通技術の情報交換等広く多くの参加者の教育・啓発に繋げる。

地域フォーラム：アジア地域における持続可能な環境に配慮した交通システムの実現に向けて、国毎の戦略計画、アジアイニシアティブ、アジアEST戦略の策定について議論する。

3. 施策の効果

国内外の有識者、産学官、NGO、市民など幅広いステークホルダーにより、環境に配慮した交通の実現を目指す。

アジア諸国、国際機関等とも有機的な連携体制を築き、わが国の経験・知見を活用し、アジア地域の持続可能な交通環境の実現を支援する。

このため、今回の世界会議を契機に「地域フォーラム」が正式発足する。

環境と交通に関する世界会議 in 愛知

主 旨：環境と交通の調和については、世界的に関心が高まってきている中、産学官を問わず様々なステークホルダー等が環境と交通について幅広く議論するとともに、一般市民にこの問題についての関心、啓発を促し、これらの動きを結集し、次へのステップとなる『環境と交通に関する世界会議in愛知』を万博関連プロジェクトとして実施。

日 時：2005年8月1日(月)～5日(金)の5日間

場 所：万博会場、名古屋市内等

参 加 者：アジア諸国、国際機関、自治体関係者、産業界、研究者、NGOなど

主 催：環境省、経済産業省、国土交通省、国連地域開発センター（UNCRD）、
（独）環境再生保全機構

後 援：愛知県、名古屋市、名古屋大学、（社）日本自動車工業会、
（財）2005年日本国際博覧会協会、Clean Air Initiative for Asian Cities
（CAI - Asia）

環境と交通に関する世界会議in愛知組織委員会：
委員長 豊田章一郎日本経団連名誉会長

